



2025 年 12 月 22 日

各 位

会 社 名 阪急阪神ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 嶋田 泰夫
(コード番号 9042 東証プライム)
問合せ先 広報室 広報部長 豊田 祐造
(TEL. 06-6373-5092)

特定子会社の異動に関するお知らせ

当社の孫会社であるインドネシアの事業統括会社 PT. Hankyu Hanshin Properties Indonesia (以下「HHPI 社」という) は、インドネシアのメダンにある大規模商業施設デリパークモール (以下「本物件」という) を取得することを目的に、HHPI 社の子会社として 2025 年 10 月に設立した PT DPM ASSETS INDONESIA (以下「DPMAI 社」という) に増資することを本日決定しました。

DPMAI 社は、HHPI 社のほか PT Sinar Menara Deli (以下「Sinar 社」という) 及び株式会社三菱 UFJ 銀行からも増資を引き受け、DPMAI 社の株式持分については、HHPI 社が 76.4%、Sinar 社が 15.0%、株式会社三菱 UFJ 銀行が 8.6%となる予定です。

当該増資により、DPMAI 社の資本金額が当社の資本金の額の 100 分の 10 以上に相当する 2,564,412 百万ルピア (22,823 百万円) となり、当社の特定子会社に該当することになりますので、お知らせいたします。

なお、本日付で別添のとおり、DPMAI 社による本物件の取得について、プレスリリースを阪急阪神不動産株式会社から公表しておりますので、あわせてご参照ください。

記

1. 子会社設立の理由

阪急阪神ホールディングスグループでは、「阪急阪神ホールディングスグループ 長期経営構想 深める沿線 広げるフィールド ～未来へ、そして世界へ～」を本年 3 月に策定し、その実現に向けた事業戦略として、

「圧倒的 No. 1 の沿線の実現」をはじめとする 4 つの方向性を定めていますが、その一つとして、「エリアを超えた展開 (首都圏・海外)」を掲げております。この戦略のもと、海外における不動産事業では、沿線で培ったノウハウを活かして、持続的な成長が見込まれる ASEAN やアメリカ、オーストラリアで外部パートナーとの連携を図りながら、ストック型・回転型・住宅分譲のそれぞれの事業において規模の拡大を目指しております。

このうち、ストック型事業については、2019 年にインドネシアのジャカルタ中心業務地区に所在する複合施設プラザインドネシアコンプレックス等を保有・運営する現地事業体に出資したことを皮切りに、その後、順次拡大に努めており、2022 年には、西ジャカルタ市に所在する大規模商業施設セントラルパークモールを保有する PT CPM ASSETS INDONESIA の子会社化、2023 年には、セントラルパークモールに隣接するセントラルパークモール 2 (旧称：ネオソーホーモール) を保有する PT NSM ASSETS INDONESIA の子会社化等を行いました。今般、これらに続いて、本物件を保有・運営するための DPMAI 社を設立及び子会社化し、当該施設の運営管理を主導していくことで、施設の価値向上を図るとともに、ASEAN における同事業の基盤構築を進めてまいります。

2. 異動する特定子会社の概要

(1)	名 称	PT DPM ASSETS INDONESIA
(2)	所 在 地	インドネシア ジャカルタ
(3)	代表者の役職・氏名	President Director 山下 正人
(4)	主 な 事 業 内 容	インドネシアにおける商業施設の保有・賃貸
(5)	資 本 金	10,000 百万ルピア (89 百万円) (注1) (注2)
(6)	設 立 年 月 日	2025 年 10 月 27 日
(7)	大株主及び持株比率	HHPI 社 (76.4%) Sinar 社 (15.0%) 株式会社三菱 UFJ 銀行 (8.6%)
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係 該当事項はございません。
		人 的 関 係 該当事項はございません。
		取 引 関 係 該当事項はございません。

(注1) 112.36 ルピア/円 (2025 年 9 月 30 日の為替レート) で計算しています。

(注2) 2026 年 1 月に 2,554,412 百万ルピア (22,734 百万円) の増資を引き受ける予定 (うち HHPI 社からの増資引き受けは 76.4%)。

3. HHPI 社の概要

(1)	名 称	PT. Hankyu Hanshin Properties Indonesia
(2)	所 在 地	インドネシア ジャカルタ
(3)	代表者の役職・氏名	President Director 武田 隆史
(4)	事 業 内 容	インドネシアにおける不動産事業 (賃貸・売買・住宅分譲ほか) 会社への投資、現地プロジェクトの進捗管理、市場調査、新規案件の探索、現地企業との関係強化、新たなパートナーの探索 など
(5)	資 本 金	2,024,000 百万ルピア (18,014 百万円)

4. 日 程

(1)	H H P I 社 の 増 資 決 議 日	2025 年 12 月 22 日
(2)	HHPI 社 から DPMAI 社 へ の 増 資 契 約 締 結 日	2025 年 12 月 22 日
(3)	D P M A I 社 増 資 引 受 日	2026 年 1 月初旬 (予定)

5. 今後の見通し

2026 年度期首から HHPI 社及び DPMAI 社は当社の連結子会社となる見込みですが、当社の 2026 年度連結業績への影響につきましては、軽微であると判断しています。今後、公表すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上

インドネシア・メダン市の大規模商業施設「デリパークモール」を 2026年1月に取得します

阪急阪神不動産株式会社は、インドネシアの北スマトラ州のメダン市に所在する大規模商業施設「デリパークモール」（以下、「本施設」）を、2026年1月に取得することになりましたので、お知らせします。

本施設は、インドネシアのスマトラ島における最大都市であるメダン市の中心部に位置しています。北スマトラ州の鉄道網における拠点駅であるメダン駅に近いほか、クアラナム国際空港やベラワン港とメダン市中心部を結ぶ高速道路につながる主要幹線道路沿いという、交通至便なロケーションにあります。また、オフィスや大学、分譲住宅などからなる大規模複合開発施設『ポドモロシティ・デリ・メダン』の中にあることから、同施設のオフィスワーカーや居住者はもちろんのこと、近隣のみならず遠方からも、幅広い層のお客様にご利用いただいています。

インドネシアは、巨大な人口に支えられた消費市場の拡大を背景に、たくましい経済成長を続けています。特にメダン市は、本施設のメインターゲットである中間層以上の人口が中長期的に大幅に増加することが予想されるなど、今後もさらなる成長が期待されています。

当社は、これまで培ってきた不動産事業に関するノウハウを活かしながら、本施設の運営管理を推し進めることで、本施設の価値向上を図るとともに、ASEANにおける賃貸事業の基盤構築を進めてまいります。

なお、本施設の取得により、当社がインドネシアにおいてメジャーで所有している商業施設は、西ジャカルタ市にある「セントラルパークモール」と「セントラルパークモール2（旧称：ネオソーホーモール）」に続く3物件目となります。

本施設の詳細は、次ページのとおりです。



大規模複合開発施設『ポドモロシティ・デリ・メダン』および
「デリパークモール」の外観

■本施設の概要

インドネシアの大手不動産開発会社である Agung Podomoro Group (アグン ポドモロ グループ) の PT Agung Podomoro Land, Tbk (アグン ポドモロ ランド) の子会社 PT Sinar Menara Deli (シナル メナラ デリ) により開発された、大規模複合開発施設『ポドモロシティ・デリ・メダン』内にあり、本施設のほかに、オフィスや大学、分譲住宅などがあります。

【敷地面積】 50,996㎡ (ポドモロシティ・デリ・メダンの敷地)

【延床面積】 115,588㎡ (本施設)

【階数】 地下2階、地上7階 (本施設)

【竣工】 2019年

【テナント数】 約200テナント

【併設施設】 オフィスタワー、大学、分譲住宅 ※これらはすべて本施設に直結しています。

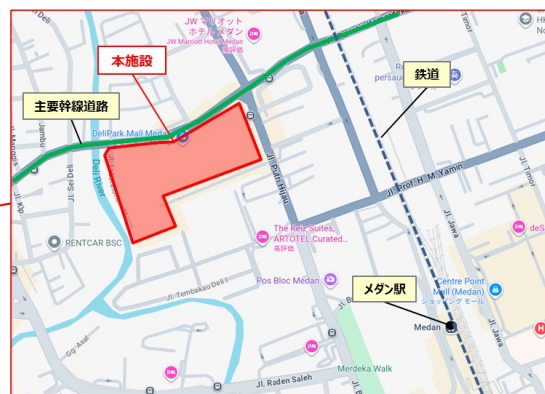
■位置図



インドネシア全体



メダン市近郊



本施設の周辺

© Google Map(一部加工)

以 上

【別添資料】 (ご参考) 「セントラルパークモール」および「セントラルパークモール2」について

■「セントラルパークモール」および「セントラルパークモール2」について



建物の外観



ジャカルタ近郊 位置図（黄色のラインは高速道路）

© Google Map（一部加工）

■セントラルパークモール

【敷地面積】85,697㎡（セントラルパーク複合施設※¹の敷地）

【延床面積】188,047㎡

【階数】地下2階、地上10階ほか

【竣工】2009年

【テナント数】約300テナント

■セントラルパークモール2（旧称：ネオソーホーモール※²）

【敷地面積】21,719㎡

【延床面積】63,479㎡

【階数】地下2階、地上7階ほか

【竣工】2016年

【テナント数】約70テナント

※¹ セントラルパークモールを含む、オフィス、分譲住宅、ホテルで構成されています。

※² インドネシア ジャカルタの商業施設「ネオソーホーモール」は11月22日に「セントラルパークモール2」へ施設名称を変更しました。詳細については下記URLよりニュースリリースをご参照ください。

<https://www.hhp.co.jp/news/docs/fe8a4ee9f1c6f3a312517e9668bce0e9378c88d4.pdf>

以 上